

# もっと利用価値を見出せ、町民の森

議長を除く8人の委員で構成する決算特別委員会は、本会議より付託された平成21年度各会計決算認定議案について、13日から15日にかけて各課の説明を受け、詳細かつ慎重に審議し、原案のとおり認定すべきものとして決定しました。

最終日の16日本会議には、決算特別委員長による審査結果の報告が行われ、平成21年度の一般会計及び特別会計について全員賛成で原案どおり認定しました。



決算特別委員会委員長 齋藤公一



舟曳きが懸念される老朽化した小鷲飼舟

## 舟曳きの評価は

村岡 藤弥 議員

**Q** 祭りにおける舟曳きの評価は。舟の老朽化も踏まえて、今後どう扱っていくのか。大きな観光資源との認識の下、考えていただきたい。

**A** 祭りを盛り上げる大きな役割と認識している。舟自体は県の所有で問題はあるが、町として協力できるところはしていきたい。

## 冷水機の設置は

関 幸悦 議員

**Q** 温泉施設内に冷水機の設置は可能か。また、寄付による取り付けはできるか。

**A** (振興公社社長) 現状では公社での設置は難しい。寄付による設置も再度協議していく。

**Q** 駅前広場階段の安全対策は。

**A** 町としては注意喚起を徹底していくのみ。

## 町民の森の活用の手立ては

遠藤 宏司 議員

**Q** 「町民の森」の環境整備及び活用の手立ては。

**A** 水の問題など利用を妨げる要素があり、それらの解消を目指し多角的に活用していきたい。

**Q** グラウンドゴルフ場の建設など利用価値がある。町民ボランティアが

**A** 意見を取り入れ、担当課を通して対応していきたい。



利活用が望まれる、町民の森

## 歴史民俗資料館をしっかりと整備せよ

大山 二郎 議員

**Q** 電算機器賃借料等が毎年増加している。地方負担を減らす要望を、地方自治体全員で提出していくべき。

**A** 町村会レベルでの要望は提出している。引き続き継続していきたい。

**Q** 整備中の旧一中グラウンド、今後の利用目的の範囲はどこまでを想定しているのか。

**A** 中学校グラウンドの位置づけはそのままに、

**Q** 中学校グラウンド整備は、当初の計画と変わってきた。教育委員の考えで変わってきたのか。

**A** (教育長) 教育委員・事務局で協議を続けていく中で変化してきた。経緯については、その都度説明できる範囲内で示してきており、教育委員も理解している。



整備の遅れる大石田中グラウンド



整備が望まれるひっそりと建つ資料館

**Q** 歴史民俗資料館は、有料施設としては内観がお粗末。文化の町をうたう以上、しっかりと整備すべき。

**A** 把握はしていないが、必要な措置は教育委員会が講じているはず。

**A** (教育長) 必要な内観措置は個別努力で行っている。むしろ展示物の充実に力を注いでいきたい。

**Q** 監査決算審査の意見書は、全て断定的な表現で書かれている。全ての資料を見た上での表記か。

**A** 町長が自身の選挙活動に公用車を用いているという噂があるが、事実か。

**A** 意識的に公用車を使用しているつもりはない。誤解を招かぬよう注意していきたい。

## 予算増額の所感

芳賀 清 議員

**Q** 中学校新設に伴う大幅な予算増額について、町長の所感は。

**A** 一過性の増額に過ぎない。今後は破綻をきたさぬよう、標準財政規模をもとに編成を進めていく。

**Q** 町民税の未収金・不納欠損が増加している。専門委員を設置することで、雇用対策・人材活用につながるのでは。

**A** 他の市町村での事例もあるが、県への対策をお願いしていく。雇用対策として扱ったつもりはない。



どうする税金の徴収対策